

【農事メモ号外】

病害虫多発！基幹防除を徹底しよう！！

7/9「斑点米カメムシ多発注意報」が発令されました。

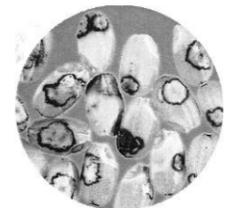
いもち病、紋枯病が発生しやすい天候が続き
すでに一部のほ場で紋枯病の発生が見られます。

コブノメイガの幼虫による食害葉が多く見られ
8月上中旬に多発する恐れがあります。

本田の薬剤防除を徹底して、病害虫の発生を抑えましょう

着色粒による検査規格（目安）

1,000粒中	
2～3粒混入	⇒ 2等
4～7粒混入	⇒ 3等
8粒以上混入	⇒ 規格外



基幹防除について 出穂期に応じて散布しましょう。

ゆめみづほ(出穂 7/16 前後) コシヒカリ(出穂 7/31 前後) ひやくまん穀(出穂 8/5 前後)

体系	散布時期	対象病害虫	薬剤名	使用量 10a 当たり	ゆめみづほ散布時期 の目安	コシヒカリ散布時期 の目安	ひやくまん穀散布 時期の目安	注意事項
微粒 防除 ※1	1回目	いもち病 カメムシ類 紋枯病 ウンカ類 ツマグロヨコバイ	サジェスト微粒剤F	3～4kg	7月21～25日	7月29日～ 8月2日	8月3日～8月7 日	使用時期： 収穫21日前まで
	2回目	いもち病、カメムシ類 ウンカ類、ツマグロヨコバイ	ビームスタークル微粒剤F	3～4 kg	7月28日 ～8月1日	8月5～10日	8月10～15日	使用時期： 収穫7日前まで
粒剤 防除 ※2	1回目	いもち病 カメムシ類 紋枯病 ウンカ類 他	イモチエース キラップ粒剤	3 kg	7月7～11日	7月22～26日	7月27～31日	使用時期： 収穫35日前まで
	2回目	カメムシ類、ウンカ類 ツマグロヨコバイ	スタークル粒剤 スタークル豆つぶ	3 kg 250 g	7月21～25日	8月5～10日	8月10～15日	使用時期： 収穫7日前まで
液剤 防除	1回目	いもち病 カメムシ類 紋枯病	①ビームエイトレボソル + ②モンセリンアブゾル	水100L に対し ①154ml (650倍) ②66ml (1500倍)	7月21～25日	7月29日～ 8月2日	8月3日～8月7 日	使用時期： 収穫21日前まで
	2回目	いもち病、カメムシ類 ウンカ類、ツマグロヨコバイ	ビームエイト スタークルゾル	60～150L (1000倍)	7月28日 ～8月1日	8月5～10日	8月10～15日	使用時期： 収穫7日前まで

随時防除について

常発地や昨年発生が見られた地域は田まわりを徹底しましょう。

稲こうじ病 ※穂ばらみから出穂にかけて雨が多く、低温・日照不足で発生が多くなる。

薬剤名	使用量 10a 当たり	使用適期	本剤の 使用回数	注意事項
モンガリット粒剤	3～4 kg	出穂2～ 3週間前	2回以内	水深3cm程度で散布4～5日間は湛水を保つ。
Zブレド粉剤DL	3～4 kg	出穂10日前	—	穂に付着すると薬害を生じるので、必ず出穂10日前までに散布する。



紋枯病症状

紋枯病

常発地やすでに発生しているほ場は、出穂10日前までにモンガリット粒剤を3～4 kg / 10 a を散布しましょう。

薬剤名	使用量 10a 当たり	使用適期	本剤の 使用回数	注意事項
モンガリット粒剤	3～4 kg	出穂2～ 3週間前	2回以内	水深3cm程度で散布4～5日間は湛水を保つ。
モンセリン粉剤DL	4 kg	出穂10日前	4回以内	収穫前21日以内



コブノメイガ

コブノメイガ

発生時にMR. ジョーカーを4 kg / 10 a を散布しましょう。

(参考) 管内に多く生息する斑点米カメムシ類



写真：石川県病害虫診断防除ハンドブックより

	アカヒゲホソドリカスミカメ	アカスジカスミカメ	トゲシラホシカメムシ	ホソハリカメムシ
形				
態	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体長：5～6mm ○ 緑色で赤いヒゲが特徴 ○ 飛翔性 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体長：4.6～6mm ○ 黄緑色で背中赤いスジ ○ 飛翔性 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体長：4.5～7mm ○ 淡褐色で黒い点刻あり ○ 歩行性 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体長：8.5～11mm ○ 黄褐色で肩の先端が尖る ○ 飛翔性